



# これからの季節は注意！ 腸管出血性大腸菌感染症

令和5年9月13日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

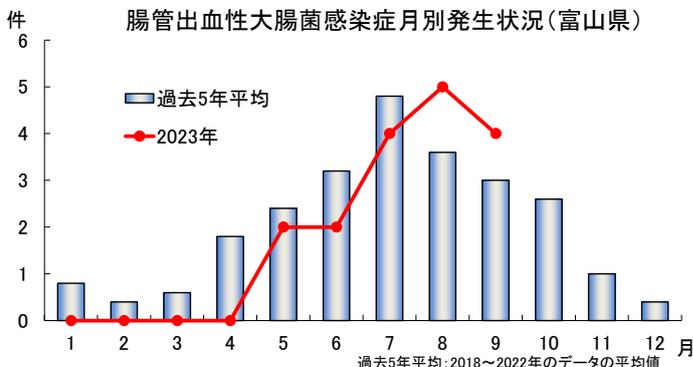
(令和5年第36週分・9月4日～9月10日)

### 《インフォメーション》

#### ●腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌 (EHEC) 感染症は、ベロ毒素 (VT) を産生、または VT 遺伝子を保有する EHEC により汚染された食品を原因とする感染症です。全国では無症状病原体保有者を含む EHEC 感染例が例年 3,000～3,900 件報告されており、夏季に流行のピークがみられます。県内においても9月10日現在、EHEC 感染症は17件報告されています(図参照)。その内、13件は7月以降に集中して報告されており、引き続き注意が必要です。

EHEC は牛などの反芻動物に保菌されていることが多く、これら動物の糞便を介し肉類やその他の食品、井戸水などを汚染します。汚染された肉等の食品を加熱不十分な状態や生のまま喫食すると3～5日経過後に腹痛、水様性の下痢や血便、さらに一部の患者では嘔吐や発熱などの症状を呈します。また溶血性尿毒症症候群 (HUS) や脳症など重篤な合併症を併発し、死亡する事例もあることから、免疫力が弱く重症化しやすい小児や妊婦、高齢者については特に注意が必要です。原因施設としては飲食店や保育施設だけでなく、一般家庭での感染も数多く報告されています。ヒトからヒトへの感染は、患者の便や菌のついたものに触れた後、手洗いを十分にしなかった場合などに起こります。9月現在も気温・湿度が高く、細菌が増殖しやすい環境です。下記のことを気をつけ感染予防に努めましょう。



- ① 調理の際、食事の際、トイレの後は石けんと流水で手を洗う
- ② 生肉やレバーなどの内臓肉は、内部まで十分に加熱してから食べる
- ③ まな板などの調理器具は、「肉用・魚用」と「野菜用」で使い分ける
- ④ 食材は調理までの間、低温 (10℃以下) で保存する

### 《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 1件 (80歳代、女性)  
 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2件 (①10歳未満、男性、O157、VT2  
 ②10歳代、女性、O157、VT2)  
 四類感染症 レジオネラ症 1件 (50歳代、男性、肺炎型)  
 五類感染症 百日咳 1件 (第35週診断分: 10歳未満、女性)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	COVID-19	22.13 (↑)	17.27
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.34 (↑)	3.07
3位	感染性胃腸炎	3.28 (↓)	4.28
4位	手足口病	1.69 (↓)	1.76
5位	咽頭結膜熱	1.21 (↑)	0.72
6位	RSウイルス感染症	1.00 (↓)	1.90



○感染症発生動向調査報告状況（令和5年第36週 令和5年9月4日～令和5年9月10日）

分類	疾患	今週報告分（第36週）						累積報告数（令和5年第1週（1月2日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核			1		1	5	5	23	5	54	92		
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症				2	2	1		2	2	12	17		
	四類感染症	オウム病									1			1	
		日本紅斑熱											1	1	
		レジオネラ症					1	1	3	1	10	1	9	24	
	五類感染症	アメーバ赤痢											2	2	
		ウイルス性肝炎									1			1	
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									10	2	9	21	
		急性脳炎										1	1	2	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									5	1	5	11	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	2	7	10	
		侵襲性肺炎球菌感染症									2	5	1	11	19
		水痘（入院例）									1		1	4	6
		梅毒										2	1	14	17
播種性クリプトコックス症								1						1	
破傷風											1			1	
百日咳												3	3		
インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	7	4	13	3	8	35	810	1,378	3,349	1,139	4,717	11,393		
	COVID-19（※1）	1.00	0.80	1.00	0.43	0.50	0.73								
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	186	93	292	87	404	1,062	1,249	813	2,239	1,163	1,949	7,413		
	咽頭結膜熱	26.57	18.60	22.46	12.43	25.25	22.13								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	3	15	2	7	29	66	111	640	247	569	1,633		
	感染性胃腸炎	0.50	1.00	1.88	0.50	0.70	1.00								
	水痘	3		27		5	35	67	51	250	41	168	577		
	手足口病	0.75		3.38		0.50	1.21								
	伝染性紅斑		3	65	4	25	97	59	24	891	10	665	1,649		
	突発性発しん		1.00	8.13	1.00	2.50	3.34								
	ヘルパンギーナ	14	9	10	15	47	95	724	737	1,309	880	4,260	7,910		
	流行性耳下腺炎	3.50	3.00	1.25	3.75	4.70	3.28								
	眼科定点（7定点）	水痘		1		1	2	4	19	34	6	57	120		
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎														
	マイコプラズマ肺炎														
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）														
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）			1			1			1			1		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 COVID-19は令和5年第19週（5月8日）～の集計です。

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。

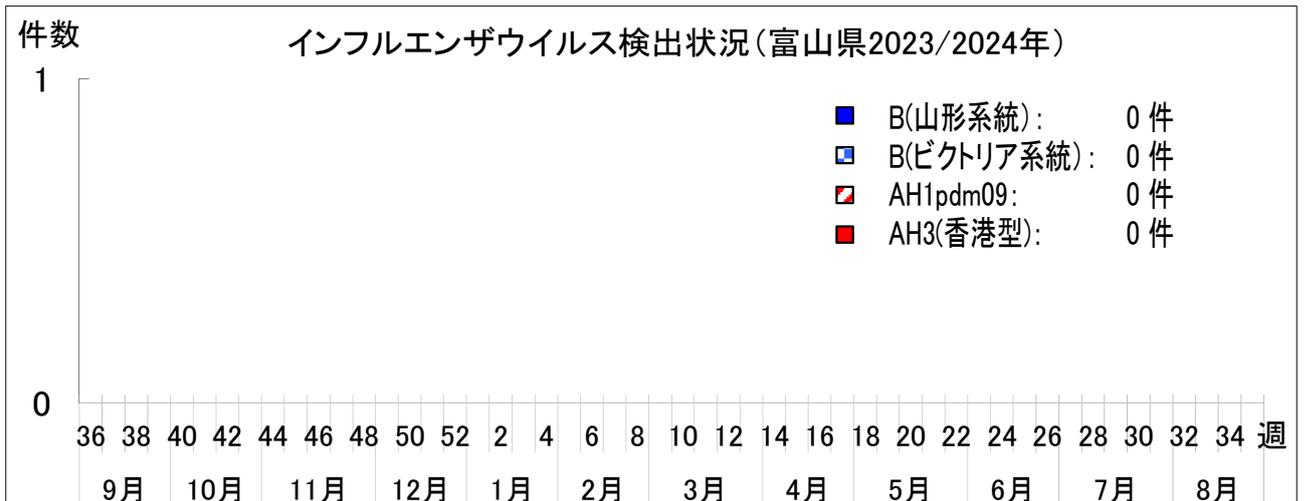
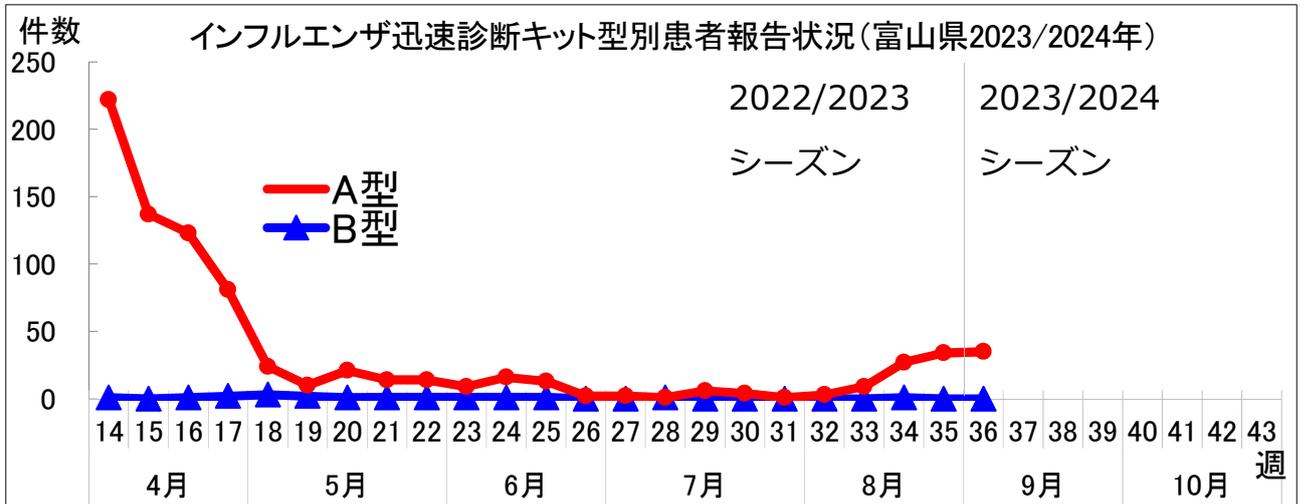
## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。  
 現在、下の表によると、A型が100.0%となっています。

### 第36週(9/4~9/10)：富山県 0.73人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	3 / 7	7	0	0	7
中部	2 / 5	4	0	0	4
高岡	8 / 13	13	0	0	13
砺波	2 / 7	3	0	0	3
富山市	6 / 16	8	0	0	8
富山県	21 / 48 <sup>※1</sup>	35	0	0	35
富山県累計(2023年36週~)		35	0	0	35

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が21か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





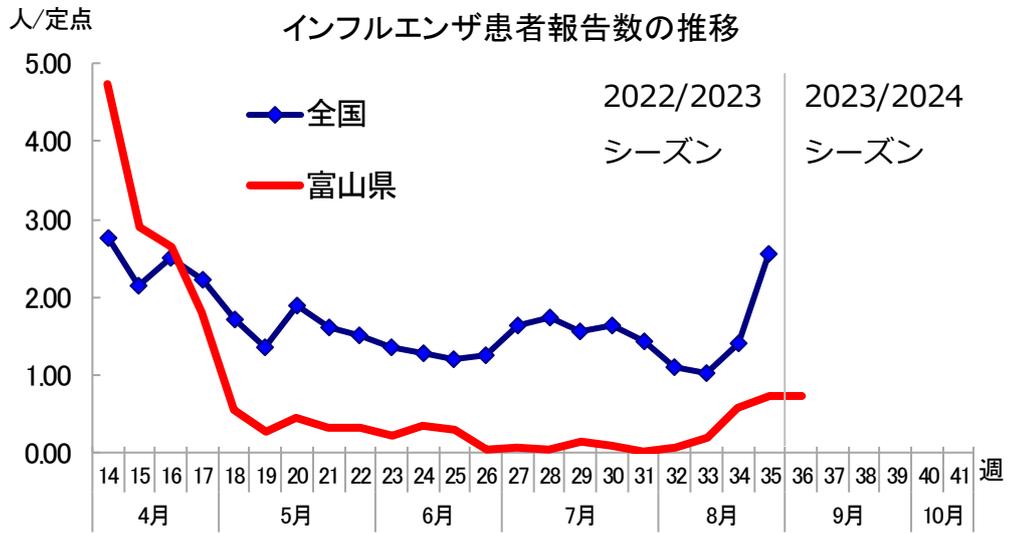
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 36 週 (9/4~9/10) : 富山県 0.73 人/定点

新川 HC (1.00)、中部 HC (0.80)、高岡 HC (1.00)、砺波 HC (0.43)、富山市 HC (0.50)

全国では、流行の目安である 1.0 人/定点を超える報告数で推移しています。

今週、県内の患者報告数は 0.73 人/定点となり、先週から横ばいの状況です。

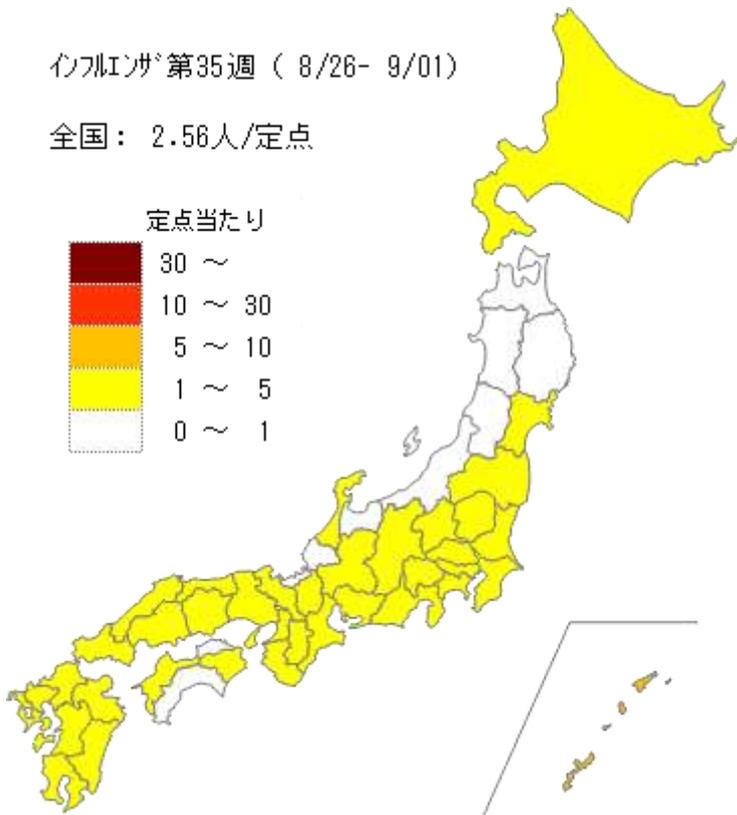
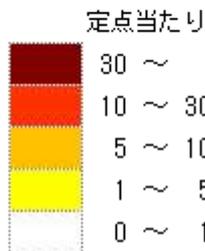


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 35 週 (8/26~9/1)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 2.56 人となり、前週の 1.40 人より増加しました。43 都道府県で前週より増加しています。4 県で前週より減少しています。

インフルエンザ第35週 (8/26- 9/01)

全国： 2.56人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	1.43 ↑	滋賀県	1.62 ↑
青森県	0.30 ↑	京都府	2.71 ↑
岩手県	0.79 ↓	大阪府	2.44 ↑
宮城県	3.98 ↑	兵庫県	2.23 ↑
秋田県	0.22 ↑	奈良県	1.58 ↑
山形県	0.28 ↑	和歌山県	2.10 ↓
福島県	1.13 ↑	鳥取県	3.14 ↑
茨城県	2.51 ↑	島根県	1.37 ↑
栃木県	1.68 ↑	岡山県	2.38 ↑
群馬県	1.77 ↑	広島県	2.27 ↑
埼玉県	2.83 ↑	山口県	3.45 ↑
千葉県	4.20 ↑	徳島県	2.08 ↑
東京都	2.96 ↑	香川県	1.00 ↓
神奈川県	2.74 ↑	愛媛県	3.03 ↑
新潟県	0.48 ↓	高知県	0.59 ↑
富山県	0.73 ↑	福岡県	4.16 ↑
石川県	1.33 ↑	佐賀県	3.26 ↑
福井県	0.77 ↑	長崎県	3.91 ↑
山梨県	2.71 ↑	熊本県	2.54 ↑
長野県	1.18 ↑	大分県	2.84 ↑
岐阜県	1.79 ↑	宮崎県	4.95 ↑
静岡県	2.19 ↑	鹿児島県	2.91 ↑
愛知県	2.97 ↑	沖縄県	9.41 ↑
三重県	4.42 ↑	<b>全国</b>	<b>2.56 ↑</b>

○感染症発生動向調査報告状況（令和5年8月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		8月報告分						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症		1	2		10	13		5	13		67	85
			1.00	0.67		2.50	1.30						
	性器ヘルペスウイルス感染症				1	9	10	1	7	2	2	36	48
					1.00	2.25	1.00						
	尖圭コンジローマ				1		1			2	7	5	14
					1.00		0.10						
	淋菌感染症							1	1	1		18	21
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	2	2	2	14	21	17	9	11	6	100	143
		1.00	2.00	2.00	2.00	14.00	4.20						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									3		7	10

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。